

## 【ライフスタイル賞】

門脇 富士美さん（秋田県仙北市）

### 【留学が原点】

20代の頃、留学先の中国で自分の国、故郷について熱く語るルームメイトに対し、何も語れない自分に気づき、故郷や家業を知ろう、地に足のついた生き方をしようと秋田に帰郷しました。その後、中山間地域の小規模農家として、両親と共に「ほうれん草栽培」をしつつ、1998年から宿泊業、2002年から菓子製造業を組み合わせることにより、条件不利地域ながら専業農家として、豊かでなくともそれなりの暮らしをすることを目指してきました。



### 【若手女性農業者のパイオニア】

現在は、仙北市農山村体験推進協議会の副会長として、市内の他の農家民宿等とも協力して、個人から団体まで多くの旅行客の受け入れやNPO法人秋田花まるっグリーン・ツーリズム推進協議会の理事長も務め、秋田県のグリーン・ツーリズムの推進にも力を入れています。また、農家民宿「星雪館」と仙北市にある全ての文化、活動、資源を、都市部と農村部、世界と仙北市、また様々な人と人とを繋げて、様々な可能性を広げていきたいと「繋ぎ手」として地域の発展に貢献したいと考えています。実践者として、繋ぎ手として、若手女性農業者のパイオニア的存在として関係者から厚い信頼を得ています。



### 【地域の味と文化を発信する実践者、交流の繋ぎ手として】(活動の主な経緯)

【1996年】国内外の農業体験希望者の受入 日本農業への理解を深め農家の暮らしを体験してもらっている。【1998年】農家の宿星雪館の開業と国内外の旅行客の宿泊の受入(2018年は1組限定の宿として、年間宿泊者数330人のうち半数が外国籍)【2007年】秋田内陸縦貫鉄道「ごっつお玉手箱列車」への食事の提供(秋田県の内陸を南北に走る第三セクターの鉄道が企画するイベント列車に、地域の特産の西明寺栗を使った栗ご飯やお焼き、寒天など何品か提供)【2012年】台湾の中高生の学習旅行の受入【2016年】んみやものバイキング〜もち編(星雪館を会場に10数種類の味の餅をバイキング形式でお客様に食べてもらうイベント。数種類のお漬物や季節の食材を使ったお料理も並ぶ。んみやものとは地域の方言で「美味しいもの」という意味)【2018年4月】「ひのマルシェ」(松木内郵便局マルシェの略)松木内郵便局内での野菜の無人販売。1番近いスーパーまで車で30分かかるため、松木内地域での買い物難民の解消と、野菜を買いに集まる人々の情報交換の場づくり。秋田県内初の取り組み。



### 【半農半エックスしませんか？】

門脇さんの活動を見て地域で活動する若手女性農業者が誕生しています。この地域の新しい女性のライフスタイルを示すことになりました。スーパーまで車で30分の山中でも、雪の降る地域の小規模農業でも心豊かにいきいきと暮らしていける。田舎暮らしを考えている皆さん、農業と何かとの組み合わせで是非一緒に楽しみましょう。

### ■写真の説明

(写真中央左)仙北市農山村体験推進協議会の仲間と(写真中央・右)自転車で星雪館の周辺を散策。前田商店で休憩し、時にはお婆ちゃん達とおしゃべりがまた楽しい。冬の風物詩、かきもちづくり

■連絡先 〒014-0602 秋田県仙北市西木町松木内字大台野開404  
☎ 0187-48-2914

日本でグリーン・ツーリズムがスタートして凡そ30年。農家民宿の後継者が大きな課題のなかで、次世代の若女将が跡を継ぐということを証明。農山村に U ターンして家業を継ぐというライフスタイルを発信しつづけ、同世代や次世代につなげていってほしいとその活動は高く評価されました。